

「動物園大好き市民会議」市民委員ワークショップ ニュースレター Vol.2

5月28日、「動物園大好き市民会議」第3回市民委員ワークショップが開催されました。

今回のワークショップでは、前回のワークショップで提起された「京都市動物園の現状と課題」についての意見をもとに、「では、具体的にどうしたら京都市動物園はもっとよくなるのか？」ということについて、市民委員からの“提言”をまとめることが課題です。

「京都市動物園の現状と課題」

マンゴロウ班のテーマ 「企画、宣伝、サービス」
ミノリ班のテーマ 「まなびの場」
ミライ班のテーマ 「環境整備」

前回のワークショップでは、グループごとのテーマから見た「京都市動物園の現状と課題」について、良い面、悪い面たくさんの意見が出されました（詳細についてはニュースレターVol.1をご覧ください）。では、具体的にどうしたら京都市動物園はもっとよくなるのでしょうか？

新「京都市動物園構想」（素案）への提言

今回のワークショップの課題は、前回意見の出された「京都市動物園の現状と課題」をもとに、「では、具体的にどうしたら京都市動物園はもっとよくなるのか？」ということについて、新「京都市動物園構想」（素案）に対する“提言”をまとめることです。市民委員ワークショップ最大の山場です。

各グループとも議論はつきることなく、休み時間返上で話し合いが行われました。その結果、次のような提言がまとまりました。

マンゴロウ班の提言

目標 リピーターを増やす
人の力で Power UP!! サポーターチームを作る

企画 →魅力的な企画、イベント実施の支援

園内 雨天割引、レディースデー等の割引
募金（ポイントが貯まると特典等）
園外 環境系 NPO との連携したイベント（防災・エコ等）
市民参加のイベント
（子育てグループとの連携や家族ぐるみの参加）
地域 博物館・美術館・平安神宮等、周辺施設と連携した企画

宣伝 →定期的な PR で注目を集めます！

Web 系 ホームページの充実
（外国語対応、Web 会員、メールマガジン発行）
園内携帯コンテンツの開発・発信
PR キャラクター、キャッチコピーを作る
車内広告、チラシの公募
地下鉄等のポスター・チラシの充実
持ち込み企画の採用
外国人観光客向けの雑誌
観光協会、旅行会社に動物園を紹介してもら
ニュースリリースの再考
草の根 応援・ファンサイトの立ち上げ
動物園ファンによる草の根運動

サービス →また来くなる特徴づくり！

施設 見せ方の工夫（動物目線カメラ、夜の定点カメラ）
自転車置き場の整備
ベビーカーの充実
モノ 京都の学生・デザイナー等によるオリジナルグッズの
開発・公募
ヒト 園内ガイドや植栽の手入れ等ボランティアの活用（在
住外国人・学生を組織化）

各グループの作業の様子

左上（マンゴロウ班）
右上（ミノリ班）
左下（ミライ班）



ミノリ班の提言

まなびの場としての動物園 ～人と動物との関わり合い～

HP 関連の情報充実

ブログ更新
子供レポーター観察日記
情報発信ボランティア
メールマガジン
(イベント情報、生まれましたなど)
個体プロフィール(名前、性格、誕生日など)→トレカ
写真を増やす(写真の募集)→トレカ

QRコード活用 ケータイサイト

園内掲示の充実

統一テーマの設定(ex. 食べ物、体重、便の量など)
すべての動物に、どこへ行っても得られる情報、比較学習
飼育員紹介(ex. ひとこと、私が育てています)
巡回時間、エサ時間を知らせる→園内アナウンス
掲示物にも QR コード

トレーディングカード(トレカ)

ただで配布(飼育員が)
裏が広告、スポンサー
写真の募集

環境教育の充実

自然での姿と動物園の現在
動物同士のつながり(ex. 生息区域、補色関係、近縁関係など)
資料室の充実
小学校と協力し、エサの野菜作り

その他

お面が高い
水上レストランがほしい
佐々木蔵ノ介をイメージキャラクターに起用
疎水から二条までを歩行者天国に(時間を決めて)

ミライ班の提言

環境・展示について

園路などについて

環境に優しく、京都らしさを出せるウッド調(園路)
(北山杉の間伐材を使用し、地産地消をアピール)
本物の芝生(園路以外の広場)
疏水の眺望を生かしつつ、疏水の利用をアピールする

周辺との調和について

二条通り側のレンガの壁を残す(水路閣、疏水とのつながり)
園周辺の電柱の地中化

サービスについて

駐輪場の充実
トイレ(誰でも使いやすい、大きくて清潔なもの)
動物園までの案内看板の増設
インフォメーションセンターの増設

獣舎について

動物のエンリッチメントに配慮した獣舎
(カメラの設置、のぞき穴から観客が見る、etc.)
生態系がわかるような展示
(「京都の森」での水生昆虫や魚類の展示)
動物の目線で見ることのできる工夫(高低差をつける)
バードケージ
五感に訴えかける展示(聴覚に特化など)
臭いのきつい動物舎の配置を考慮する

ふれあい施設について

広く、大人も楽しめる場所に

その他

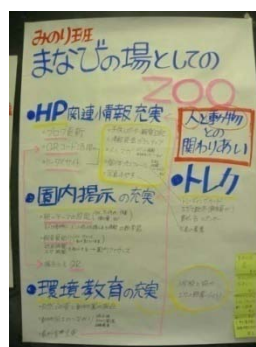
ユニフォームの新調(京都のものを使用し、地産地消)

メッセンジャー

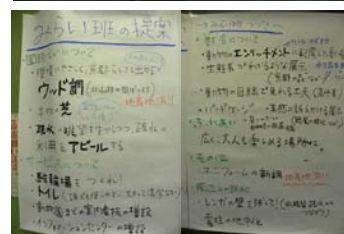
最後に話し合いの成果の発表会が行われました。そして、今回のワークショップの成果である市民委員からの“提言”は、6月16日に行われる第3回専門委員会の中でプレゼンテーションされます。その大役を担うのが、各グループの市民委員の中から選出された3人のメッセンジャーです。

市民委員ワークショップもいよいよ大詰めです。次回のワークショップは、この専門委員会へのプレゼンテーション、「園内意見箱」、「親子で語ろう、未来の動物園会議」、「小学生等からの絵画・作文の募集」などから得られた意見をふまえての最終的な話し合いの場となります。

次回の第4回市民委員ワークショップは6月26日に開催されます。



各グループのまとめ



発表の様子